

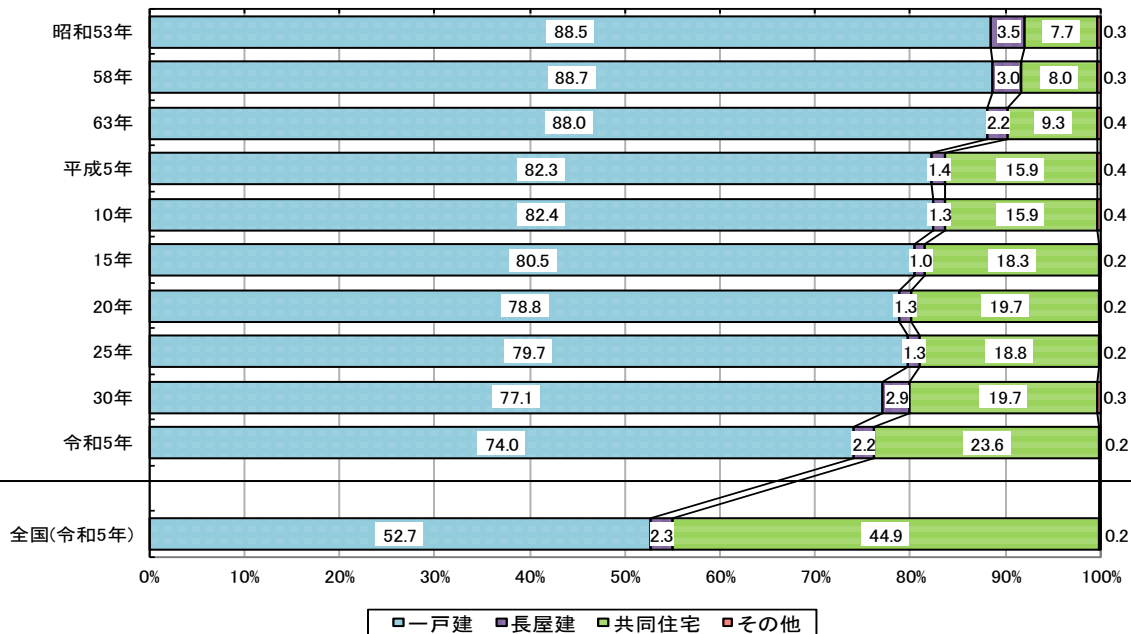
3 住宅の状況

富山県の総住宅数 473,900 戸のうち、居住世帯のある住宅（以下、単に「住宅」という。）は 401,900 戸。

(1) 住宅の建て方

一戸建率は 74.0%

図4 住宅の建て方別割合の推移—富山県(昭和53年～令和5年)



住宅 401,900 戸を建て方別にみると、「一戸建」は 297,300 戸、「長屋建」は 9,000 戸、「共同住宅」は 94,900 戸、「その他」は 800 戸となっている。住宅全体に占める一戸建の割合（一戸建率）は 74.0%（全国 52.7%）で、全国 7 位となっている。

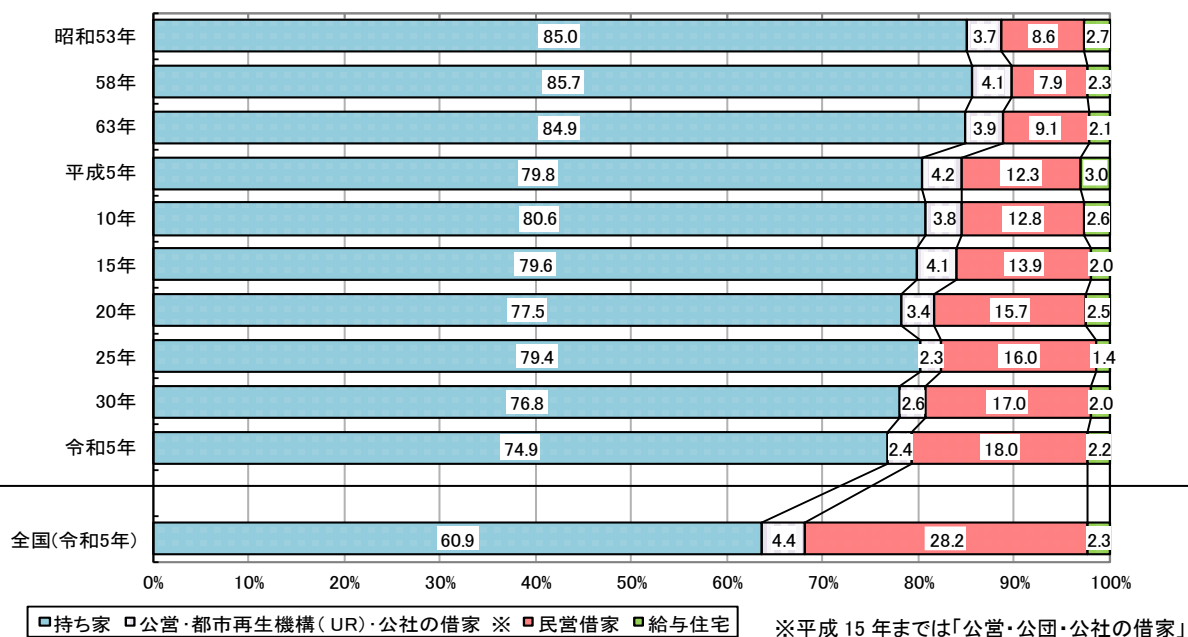
建て方別割合の推移をみると、「一戸建」の割合は低下傾向にある一方、「共同住宅」の割合は上昇傾向にあり、令和 5 年には 23.6%（全国 44.9%）となり、住宅全体の約 4 分の 1 を占めている。

< 図 4 >

(2) 所有の関係

持ち家住宅率は 74.9%

図5 住宅の所有の関係別割合の推移—富山県(昭和53年～令和5年)



住宅 401,900 戸を所有の関係別にみると、「持ち家」が 301,100 戸で、住宅全体に占める割合（持ち家住宅率）は 74.9%（全国 60.9%）となっている。全国 2 位であった平成 30 年の 76.8% から 1.9 ポイント低下し、全国 3 位となっている。

持ち家住宅率の推移をみると、昭和 63 年まで 85%前後となっていたが、平成 5 年以降はほぼ 70%台にまで低下している。一方、「民営借家」の割合は上昇傾向にあり、令和 5 年には 18.0%（全国 28.2%）となっている。

< 図 5 >

(3) 住宅の規模

専用住宅の規模は全国トップクラス

図6 住宅の所有の関係別1住宅当たり延べ面積(専用住宅)－富山県、全国(令和5年)

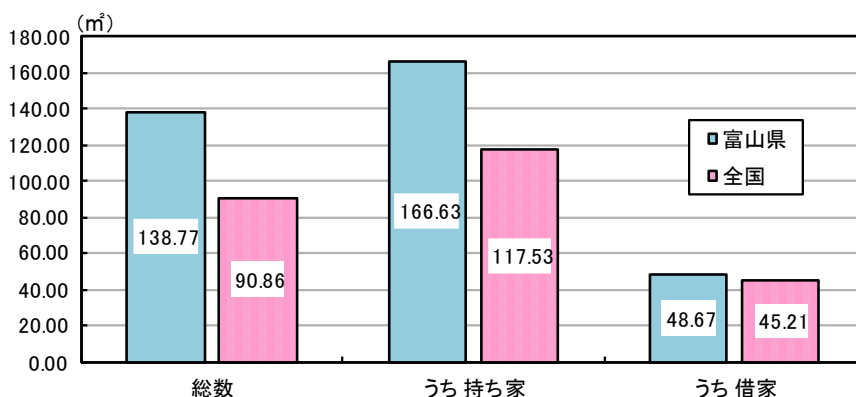
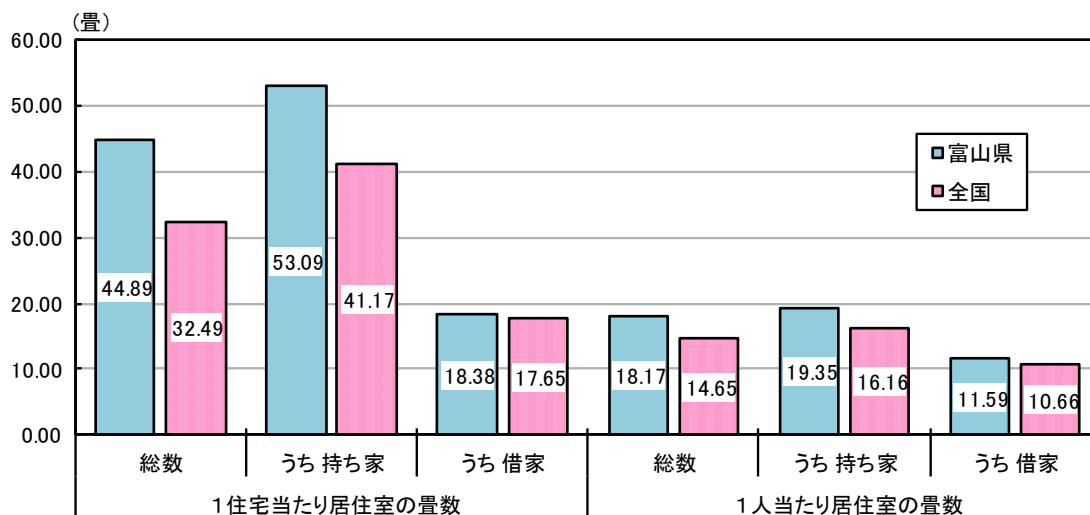


図7 住宅の所有の関係別1住宅当たり居住室の畳数及び1人当たり居住室の畳数(専用住宅)－富山県、全国(令和5年)



居住専用に建築された住宅(専用住宅)の1住宅当たり延べ面積は138.77㎡(全国90.86㎡)で、平成30年に引き続き全国1位となっている。これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家は166.63㎡(全国117.53㎡)で全国1位となっており、借家は48.67㎡(全国45.21㎡)となっている。

専用住宅における1住宅当たり居住室(居間、茶の間、寝室など居住用の室)の畳数は44.89畳(全国32.49畳)で、平成30年に引き続き全国1位となっている。住宅の所有の関係別にみると、持ち家は53.09畳(全国41.17畳)で全国1位となっており、借家は18.38畳(全国17.65畳)となっている。

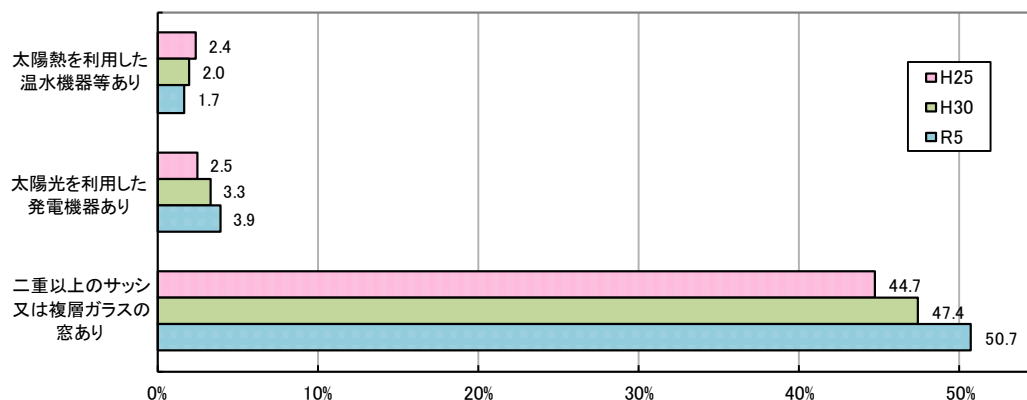
専用住宅における1人当たり居住室の畳数は18.17畳(全国14.65畳)で、平成30年に引き続き全国2位となっている。住宅の所有の関係別にみると、持ち家は19.35畳(全国16.16畳)で全国2位となっており、借家は11.59畳(全国10.66畳)となっている。

<図6、図7>

(4) 設備

半数以上の住宅に「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓あり」

図8 省エネルギー設備等のある住宅の割合—富山県(平成25年～令和5年)



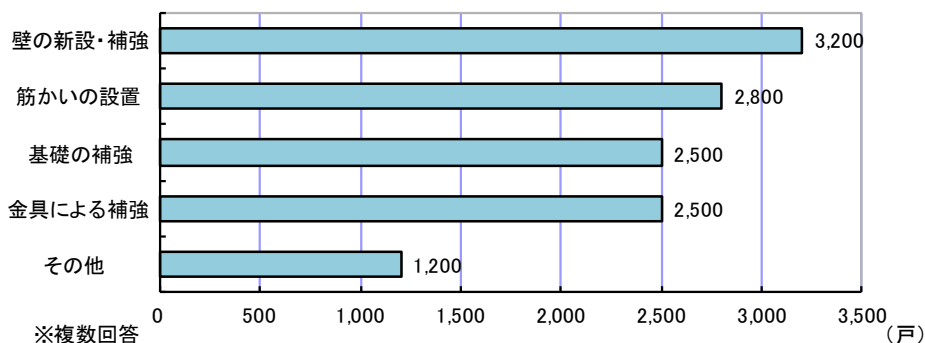
省エネルギー設備等のある住宅についてみると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は7,000戸で、住宅全体(401,900戸)に占める割合は1.7%(全国3.0%)となっている。「太陽光を利用した発電機器あり」は15,600戸で全体の3.9%(全国4.9%)となっている。「二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓あり」(すべての窓または一部の窓)は203,700戸となっており、全体の50.7%(全国31.9%)で全国8位となっている。

< 図 8 >

2019年以降に耐震診断が行われた持ち家は9.1%

令和元年以降に住宅の耐震診断が行われた持ち家は27,400戸で、持ち家全体(301,100戸)に占める割合は9.1%(全国12.0%)となっている。このうち、耐震性が確保されていた持ち家は24,900戸で、耐震診断が行われた持ち家全体に占める割合は90.9%となっている。

図9 2019年以降における住宅の耐震改修工事の状況別持ち家数—富山県(令和5年)



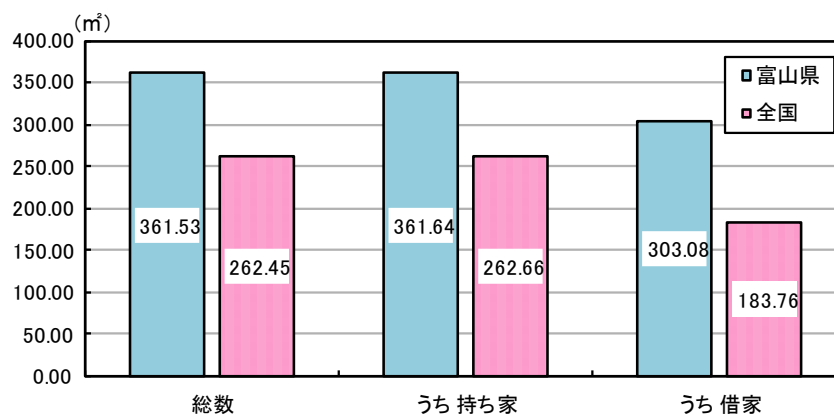
2019年以降に耐震改修工事が行われた持ち家は6,200戸で、持ち家全体に占める割合は2.1%(全国1.9%)となっている。工事の内容(複数回答あり)をみると、「壁の新設・補強」が3,200戸と最も多く、次いで「筋かいの設置」が2,800戸、「基礎の補強」が2,500戸、「金具による補強」が2,500戸などとなっている。

< 図 9 >

(5) 敷地

一戸建住宅の敷地面積は全国平均を上回る

図 10 住宅の所有の関係別一戸建住宅の1住宅当たり敷地面積—富山県、全国(令和5年)



一戸建住宅の1住宅当たり敷地面積は361.53 m² (全国262.45 m²)で、全国6位の広さとなっている。これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家は361.64 m² (全国262.66 m²)で全国6位、借家は303.08 m² (全国183.76 m²)で全国3位の広さとなっている。

<図 10>